

2010年10月5日

報道関係各位

池田市

阪急バス株式会社

池田市と阪急バスの連携による リサイクル推進及びCO2削減への取組みについて

池田市(市長：倉田薫)と阪急バス株式会社(社長：小津正弘)は、池田市内の小学校や給食センターで集められた使用済食用油を100%バイオディーゼル燃料として、池田市内を運行するバス車両に使用し、市民・自治体とバス事業者が連携して、リサイクルの推進及びCO2削減への環境施策に取り組めます。

今回の取組みは、環境省が推進するオフセット・クレジット(J-VER)等の創出に係る事業者支援の一部として、関西で初めて、自治体とバス事業者が連携して取組む支援の採択を受けています。創出されたクレジットが売却された場合、売却益の一部は使用済食用油の回収活動、バイオディーゼル燃料バスの運行等に充当することを予定しております。

記

1. 運行開始日 2010年10月12日(火)
2. 運行営業所 阪急バス石橋営業所(池田市井口堂1丁目9番21号)
3. 使用車両 1両
4. 運行路線 池田市内線(池田～神田～ダイハツ本社前～阪急石橋～石橋北口)
平日のみの運行
5. 使用燃料 バイオディーゼル燃料100%(池田市内の小学校等で集められた使用済食用油を精製いたします)
6. 燃料使用量 約6,000/年
7. CO2削減効果 年間約13.6t-CO2(バイオディーゼル燃料の燃焼により排出された二酸化炭素はもともと大気中にあったものを大気に戻しているという考え(カーボンニュートラル)に基づいております)
8. 精製業者 株式会社レポインターナショナル(京都市)
9. その他 今回の取組みは、阪急阪神ホールディングスグループの社会貢献活動「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」の一環として行っております。

* J-VER 制度:国内における自主的な温室効果ガス排出削減・吸収事業から生じた排出削減・吸収量が排出権(クレジット)として認証される制度(2008年11月 環境省創設)。

今回の取組みは、阪急バスが豊中市、摂津市で運行するバイオディーゼルバス(2両)と合せて、環境省より、J-VER等の創出に関わる事業者支援の採択(9月2日)を受けております。

以上

<資料ご提供先> 豊中記者クラブ、青灯クラブ、近畿電鉄記者クラブ

(問合わせ先) 池田市 市民生活部 環境にやさしい課 072-752-1111

阪急バス株式会社 経営企画室 06-6866-3194